

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書等を必ずご用意下さい。

③故障、不具合状況によっては一緒に電話口にて動作確認させていただきますので、製品を近くにご用意ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで

製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。

<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

受付時間 月～金 9:30～17:30 休業日 土・日・祝日

cs@tohshoh.jp

株式会社とうしょう カスタマーサービス
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根1442-1

保証書

※お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書を添付し大切に保管ください。

品名	かんたんコンパクトCDラジカセ		型番：TCD-805R
お客様	お名前	ご住所	
		電話番号 ()	
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

- ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ②お買上げ後の取付場所の移送、落下等による故障及び損傷。

③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。

④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。

⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。

⑥本書のご提示がない場合。

⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

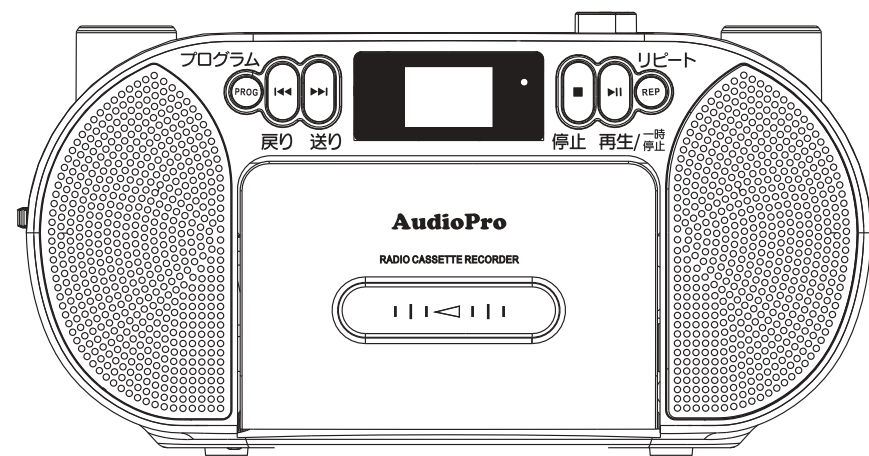
＜製品部品の保有期間＞ 部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。

※一年間は無料修理を行います。但し、お買上げより一ヶ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

かんたんコンパクトCDラジカセ

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



目次

安全上の注意・・・P1	ご使用の準備・・・P4	カセットテープの使い方・・・P6
使用上の注意・・・P2	ラジオの使い方・・・P4	こんなときは/ 故障かな？と思ったら・・・P6
各部の名称・・・P3	CDの使い方・・・P5	

主な仕様

- 電源/AC100V(50/60Hz) DC9V 単2形乾電池×6本使用(別売) ■消費電力/15W
- 電池使用時間目安/スピーカー使用時:CD約12時間/カセット約26時間/ラジオ約30時間
ヘッドホン使用時:CD約13時間/カセット約38時間/ラジオ約50時間 ※あくまでも目安であり音量等の状況により異なります。
- 本体サイズ/幅約22.0cm×奥行約22.5cm×高さ約11.5cm ※把手ボタンを除く ■本体重量/約1.35kg
- スピーカー出力/1W+1W インピーダンス8Ω
- CDプレーヤー/対応メディア:CD/CD-R/CD-RW CD-DA対応
- カセットデッキ/TYPE1 Normalポジション 2チャンネルステレオ オートストップ機構 ※再生時のみ
- AM受信周波数:530～1600kHz/FM受信周波数:76～108MHz
- 入出力端子/ヘッドホン出力:3.5mmステレオミニジャック 外部入力:3.5mmステレオミニジャック

輸入販売元：株式会社とうしょう
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根 1442-1
カスタマーサポート：048-997-2244

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜いてください。火災・感電の原因となります。



- 本器の裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- ACアダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)



注意

- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 長時間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



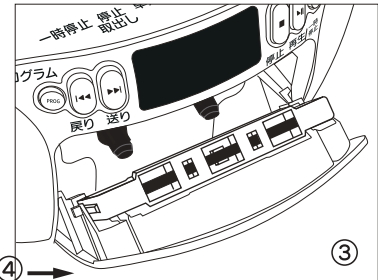
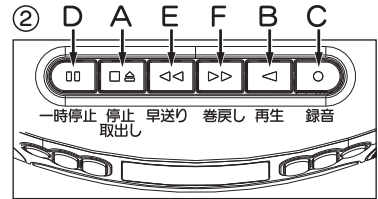
- ACアダプターは付属のもの以外を使用しないでください。火災・感電の原因となります。



カセットテープの使い方

- ①本体左側面の切替えスイッチを、左のテープ(電源切)にスライドします。
- ②停止ボタン(右図A)を押し蓋を開けます。
- ③蓋の裏側にあるL字型のガイドに沿ってテープが露出している面を上に向けカセットを蓋の裏側にセットします。
※本機は中のテープが右から左に巻き取られます。右側の穴にテープが巻かれた状態を入れて下さい。
- ④蓋の左肩部分をゆっくり押し蓋を閉じます。
- ⑤カセット操作ボタンの再生ボタン(右図B)を押込むとテープが再生されます。
- ⑥停止ボタン(右図A)を押すと再生が止まり、もう一度押すと蓋が開きカセットが取り出せます。
- ⑦テープを先に送るには早送りボタン(右図E)を押します。前へ戻すには巻戻しボタン(右図F)を押します。
※早送り/巻戻しが終わっても自動でボタンは上がりません。必ず停止ボタン(右図A)を押して止めて下さい。

① 左側面



■カセットテープへの録音方法

CD/ラジオ/会話などの音声/外部入力音声をカセットテープに録音する事ができます。

準備)上記①~④の手順で何も録音されていないカセットテープをセットして下さい。

- ⑧本体左側面の切替えスイッチを録音したい音源の機能に切替えて、各機能のページを参照し再生の準備をします。
- ⑨カセット操作ボタンの一時停止ボタン(上図D)を押し一時停止状態にしてから録音ボタン(上図C)と再生ボタン(上図B)を同時に押します。※録音ボタンだけではボタンが下がり切らない場合があります。
- ⑩再度一時停止ボタンを押し、一時停止を解除するとテープが回り録音がスタートします。すぐに音源を再生して下さい。 ※一時停止機能はカセットテープの再生中にも使用できます。
- ⑪カセットテープのA面を最後まで録音すると自動で録音ボタンと再生ボタンが上がります。カセットテープをB面にひっくり返して(前後を入れ替えて)⑨~⑩の操作をします。
- ⑫録音をしたものを再生するには左側面の切替えスイッチをテープに切り替えて、カセットを巻き戻すまたはA面/B面を入れ替えてから再生して下さい。

こんなときは / 故障かな?と思ったら 以下の項目をご確認ください

カセットテープ 音が出ない	●電池容量が足りない→ラジオが聴けても新しい電池に交換して下さい。 ●音が入っていない→A面⇄B面を入れ替えてみてください。
CD 再生ができない 音飛びがおこる 音がかすめる 雑音が混ざる 途中で止まる	●本機で使用できないCDではありませんか? ●CDの裏表が間違っって挿入されていませんか? ●CDが汚れていませんか? ●CDに大きな傷やそりがありませんか? ●CDが汚れていませんか?
ラジオが受信できない ラジオの雑音が多い	●本体背面のFMアンテナを伸ばして下さい。 ●受信状態の良い方向にアンテナの向きを変えて下さい。 ●AMラジオは本体の向き・高さ・場所を変えて調整して下さい

CDの使い方

※購入時には読取レンズを保護する紙製のカバーがセットされていますので使用前に取り除き破棄して下さい。

①本体左側面の切替えスイッチを、中央のCD/外部入力にスライドします。

LEDディスプレイ表示 [---] 点滅 → [CD] 点灯

②CD 挿入部蓋の手前右にある「開く▲」を押し蓋を開けます。

LEDディスプレイ表示 [CDP] 点灯

③CD の文字が印刷されている面を上にして、挿入部内部中央の回転軸に CD の穴を合わせ、軽く押さえてはめ込みます。

④CD 挿入部蓋の手前右にある「開く▲」を押し蓋を閉めます。

LEDディスプレイ表示 [---] 点滅 → [.] 点灯 ※自動再生

⑤停止するには停止ボタン (右図 A) を押します。

LEDディスプレイ表示 [14] (例) 収録曲数点灯

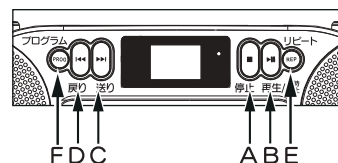
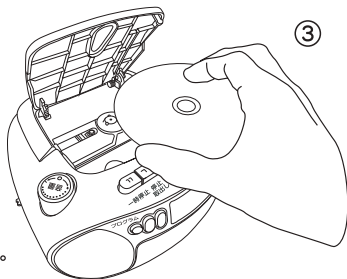
⑥再度再生するには再生ボタン (右図 B) を押します。再生中に再生ボタン (右図 B) を押す度に一時停止 → 再生を繰り返します。

LEDディスプレイ表示 再生中 [.] 点灯 → 一時停止中 [※] 点が点滅

⑦再生中に送りボタン (右図 C) を押しと次の曲が再生されます。長く押し続けると再生中の曲が早送りされます。

⑧再生中に戻りボタン (右図 D) を押しと再生中の曲の頭に帰り続けて押しと前の曲が再生されます。長く押し続けると再生中の曲が早戻しされます。

① 左側面



■リピート再生機能の使い方

CD を再生中、または停止中にリピートボタン (上図 E) を押しと 1 曲または全曲を繰り返し再生します。

●1 曲リピート: CD を再生中にリピートボタン (上図 E) を押しと再生中の 1 曲を繰り返し再生します。

LEDディスプレイ表示 再生中曲番表示の右で点が点滅 [.] ※

停止中に再生したい曲番を表示させ、リピートボタン (上図 E) を押し、再生ボタン (上図 B) を押しと再生する事で、予め 1 曲リピート設定をすることができます。CD を停止すると解除されます。

●全曲リピート: CD 再生中、または停止中にリピートボタン (上図 E) を 2 回押しと CD に収録された全曲をリピート再生します。CD を停止すると解除されます。

LEDディスプレイ表示 再生中曲番表示の右で点が点灯 [.]

■プログラム再生機能の使い方

CD を停止中にプログラムボタン (上図 F) を押しと 20 曲まで登録した順に再生する事ができます。

①CD を停止中にプログラムボタン (上図 F) を押しと登録 NO[01] が点滅表示されます。

②送りボタン (上図 C) または戻りボタン (上図 D) を押し登録したい曲番を表示させます。

③登録したい曲番を表示させた状態でプログラムボタン (上図 F) を押しと登録 NO[02] が点滅表示されます。以降は②と③を繰り返し、登録が完了したら再生ボタン (上図 B) を押しと、登録された順番に再生されます。停止ボタン (上図 A) を押しとプログラムが解除されます。

※20 曲以上は [FU] が表示されます。再生ボタン (上図 B) で登録された 20 曲が再生されます。[FU] 表示のまま更にプログラムボタン (上図 F) を押しと登録がリセットされ登録 NO[01] からやり直しとなります。

※リピートとプログラムは併用可能です。先にプログラム登録をしてからリピート設定をして下さい。

使用上のご注意

本製品は精密機械です。熱・水・湿気・埃や砂・衝撃により故障・破損・変形する事がありますので、以下の点にご注意ください。

- 防水性能はありません。水濡れによる故障、湿気・結露等による基盤腐食が原因の故障は修理が出来ず保証対象外となります。
- 夏場の暑い車内や海岸などの直射日光のあたる高温の場所に放置するとキャビネットの変形や故障の原因となります。
- 海岸など砂・埃の多い屋外での使用は故障の原因となります。本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 洗剤やアルコールなどのご使用はキャビネットの変質・故障・破損の原因となります。
- 本製品は精密機械です。落下や振動など強い衝撃を与えないでください。落下などによる故障は修理ができず保証対象外となります。

結露について

本機が冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急激に室温を上げると、本体内部の動作部に露が生じ (結露) 本機の性能が発揮できなくなることがあります。その場合は 1 時間ほど放置するか徐々に室温を上げてからご使用下さい。

CD の取扱について

- 本機で再生可能なディスクは右のマークのある市販の音楽 CD、もしくは CD-R/CD-RW です。(CD-DA[Compact Disc Digital Audio] 形式のみ)
- ※CD-R/CD-RW は記録されたデータ形式によっては再生できません。
- ※MP3/CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BD は使用できません。
- ※コピーガード付き CD (CCCD 等) は再生できない場合があります。

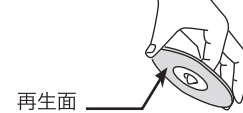


■ディスクの取扱について

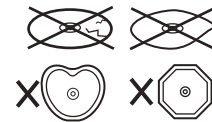
ケースから出すときはセンターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持ち取り出します

再生面には手を触れないで下さい

ケースにしまうときは印刷面を上にして上から押さえて入れます

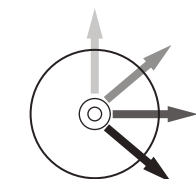


- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状のディスク、シールなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



■ディスクのお手入れについて

- ・お手入時はシンナーやベンジン、アナログレコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ・CD を拭くときは柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。
- ・CD を拭くときは、中心から外側に向かって放射状にまっすぐ拭いてください。CD は同心円状の傷に極端に弱く、レコードのように円に沿って拭くと再生出来なくなる場合がありますのでご注意ください。



※少しずつずらしながら放射状に全体を拭く

■ディスクの保管方法

- ・直射日光の当たる場所や温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

カセットテープの取扱いについて

●本機のカセットデッキは TYPE1 (ノーマル) タイプです。クローム / ハイポジション / メタルテープの再生は可能ですが、性能が十分発揮されず TYPE1 (ノーマル) に準拠した再生に留まります。

●テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



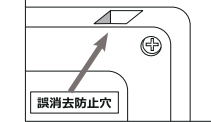
●60 分以上の長時間テープはご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。

●再生中に音がかもったり頻りにテープが絡む場合はヘッドクリーナーのご使用をおすすめします

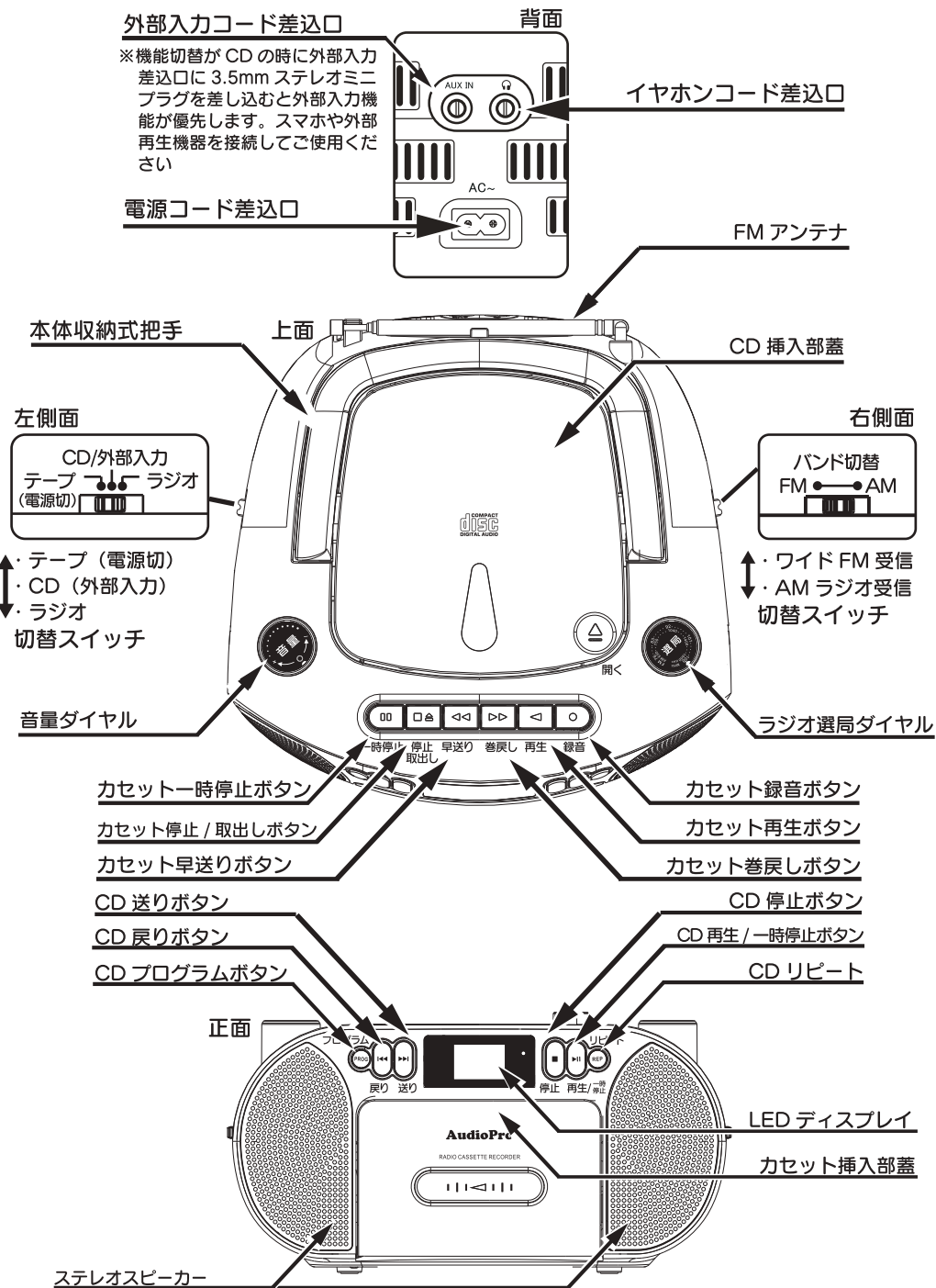
<大切な録音を守る一誤消去防止>

ツメを折ると録音ができなくなると、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。穴をゼロハンテープなどでふさげば再び録音ができます。

※例: カセット上部 (右側)

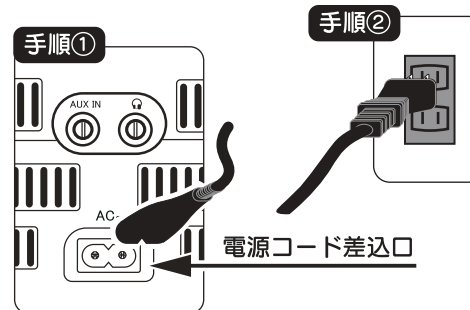


各部の名称



3

ご使用の準備

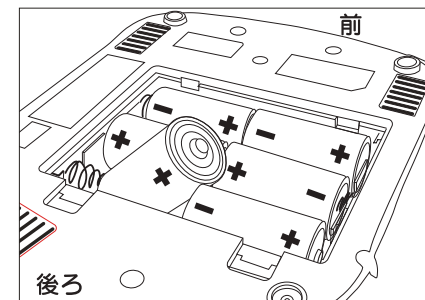
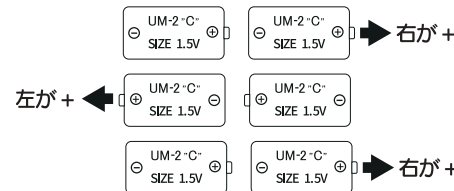


■電源コンセントを使用する場合

- ① 付属の電源コードを本体背面の電源コード差込口に差し込みます。
- ② 電源コードの反対側を電源コンセントに差し込みます。

■単二乾電池（別売）を使用する場合

本体底面の電池蓋を外し、背面から見て以下の向きで電池をセットします。



※上図のように2番目の電池でバネを潰して入れると楽にセット出来ます。

ラジオの使い方

- ① 本体左側面の切替スイッチを、右のラジオにスライドします。
※ラジオに切り替えた時点で音が鳴りますので音量を下げておく事をお勧めします。
- ② 本体右側面のバンド切替スイッチで FM と AM を切り替えます。
- ③ 本体上部右のラジオ選局ダイヤルをゆっくり回し、メモリを目安に音を聴きながらチューニングします。
※LEDディスプレイに数字は表示されません。

■AM ラジオの場合

AM アンテナは本体内蔵式で、背面の FM アンテナでは受信感度は変わりません。本体そのものの場所、向き、高さを替えて調整して下さい。

■FMラジオの場合

本体背面の FM アンテナを伸ばしアンテナの向きを変えて調整して下さい。
※アンテナを収納する際は指で一段ずつ挟んで収納して下さい。先端をてのひらで押し込むとアンテナが途中で折れて破損し、保証の対象外となります。

- ④ 使用を終えるには必ず本体左側面の切替スイッチを左のテープ（電源切）に切り替えて下さい。

※音量を 0 にするだけでは電源が切れず電池を消耗し続けます。

- ① ④ 左側面



- ② 右側面



- ③ ラジオ選局ダイヤル

4